

- 1 総裁：トランプ（以下T）氏の靈指導はN・V・ピール博士。戦わずして勝つを選択。独裁者は早く処理が可能という利点あり。与正氏が参謀総長。西側でもやれる能力の高い人。
- 2 靈言：Tの経済制裁は厳しい。現在中国をも締め上げている「すごいなあ」と思う。T氏は褒め上げて、締め上げるという手を使う。（T氏守護靈は「教育的意味がある」と主張・・・）
- 3 米・中関係、二十兆円の貿易黒字削減で「一帯一路戦略」はパーになる。中国霸権国家への夢が消える。その見返りが「北の落城」？（北への援助停止と関税の取引関係？爆撃？）
アメリカの戦略のほうが大きい。（米朝首脳会談で北が落城後に、習近平に黒字削減を迫っている）
- 4 非核化が終わらなければ、アメリカは制裁を解除しないのはOK、しかし韓国、中国が解除を始める。日本は拉致問題があるので、制裁は緩んでくるだろうと、T氏が言った。
- 5 体制保障は非核化と交換条件で、「金正恩が権力者として実行せよ」ということ。最初は即時に全部やれ、だった。それでは私達が持たない（暗殺）「実行者不在」にT氏も納得。
- 6 敗戦は認識、あまり惨めな姿でない形にという段階（チャーチル：さすがにJ・ワシントンだ）
- 7 死の街より、S・ポールのような繁栄のほうが良い。米朝ともに、W.Wで行こうと提案。
- 8 中国からの援助が停止なら革命になり、兄妹共に暗殺される。兄はプライドがあつて敗戦を認めたくないが、「最後までやることはない、ここで手打ちにするべき」と勧めた。
- 9 T氏は怖いけど、信頼できる人だ、今回はチャンスだから、一気に乗るべしと兄に進言。（O氏や他の人だと）ややこしくて難しくなる。ここ数ヶ月で劇的に考え方が変化した。
- 10 戦後のモデルは中国？日本がM・プランのような復興支援をしてくれるとありがたい
- 11 北には鉱物資源もあり、企業は入ってこられる。労働者の質は日本時代の遺産が高い。中国の人工費高騰、北は月給3万でOK、（少子化日本の）労働力としてお役に立てるはず。
- 12 拉致被害者の9割死んでいるか、情報関係の仕事だから、帰すに帰せない。完全解決に拘ると、T氏の戦略が頓挫するかも。（40年の歳月を放置した日本政府の責任も大きいものあり。）
- 13 「事が終わるまでは兄妹を護る」という意味が「Hハウスに」の意味、「逃げ道」あり。
- 14 T氏の寝技が効いているから、北のために米中戦争が起こるとは考え難い。本質は米中間の「次の冷戦」。北が内モンゴルやウイグル、チベットのように支配される危惧もある。
- 15 S・ポールを見、「小さくても、独裁でも繁栄できる。この繁栄を北へ」という希望が湧いた。（チャーチル：S・Pを見て喜んでいた、あれは子供だよ。トランプさんには可愛く見えた。）
- 16 明治維新を見習って開国するしかない。時間稼ぎではなく、先軍政治の終わり。兄弟は（父親と違って）西洋世界も日本文化も知っている。T氏は苦労しているので、若い指導者や女性が使えるという点で共感した。兄を一度アメリカに連れて行きたいと考えている。
- 17 南が経済的優位で北を奴隸階級にするのなら、距離を取る。T氏の構想は「北を日米関係のような同盟関係にする」という事。日本を通したようなアメリカ文化ならOKである。
- 18 海兵隊が兄妹を救出に来ることもなくはない、というのが「体制保障」の深意である。
- 19 総裁の「無血開城の勧め」を兄は受け入れた。若いので柔軟、日本の思想は入りやすい。信仰の自由は難しいが、日本的な神の存在は受け入れられる。過去世日本との関係あり。
- 20 反日政策は大きく変わる可能性あり、安倍氏より器の大きな日本の政治家を期待する。
- 21 金正男事件は中国の「傀儡政権」の話から、叔父の件は転覆を恐れたからである。日本がBアップしてくれる国になると嬉しいが、「拉致問題」しか言わないから困る。器の問題。
- 22 HSはフェアで客観的だ。大川総裁を信じている。総裁：実現なら、私の設計図の一枚が完成。